

所弓便

第7号

所沢市弓道連盟会員 298名

会員340名を目指して

会長 新家 透

埼玉県弓道連盟の今年度の事業方針の一つが、「会員の増加を図る」です。所沢市弓道連盟の会員数は、創立50周年記念誌によると、

昭和58年 9月 230名
 昭和60年 219名
 平成元年 5月 218名
 平成20年10月 305名

所弓便によると、

平成21年10月 293名
 平成22年10月 316名
 平成23年10月 298名

となっています。

毎年初心者教室修了生から、20数名の新会員を迎えています。また、経験者等で随時入会される方が毎年10数名おられます。

然るに、この数年で100名以上の退会者がいた計算になります。

昨今、初心者教室への申し込みが漸減しており、さらなる会員の減少が懸念されます。

おなじみの礼記に「入るを量りて、以て出ざるを為す」との教えが有ります。

財政の事に付いての教えですが、ここでは、「入会を募って、退会を制する」と言わせて下さい。

・入会を募る……他の連盟では、例えば、ホームページの活用で、初心者教室の生徒が増えたそう

です。(朝霞・志木等)

・退会を制する……自分の事はさておき、皆さんの日頃の心がけ

皆さん、お知恵を出して下さい。

下表は、埼玉連業務用会員名簿からの抜粋です。所沢市弓道連盟の会員数は、一団体として、埼玉県では最多です。

(全国のデータは、持ち合わせません。)

さらに欲張って、人口の0.1パーセント、会員340名を目指しましょう。

自治体	人口	会員	率
朝霞市	126,861	92	0.073
志木市	69,711	60	0.086
所沢市	337,686	284	0.084
新座市	156,647	97	0.062
富士見市	105,267	47	0.045
ふじみ野市	105,045	92	0.088
三芳町	37,764	38	0.100
和光市	75,642	47	0.062
西部支部	1,014,623	758	0.075
埼玉県	7,123,084	3,135	0.044

人口：住民基本台帳(平成22年3月末)
 会員：平成23年6月末の埼玉連一般会員

理事長を仰せつかりました

飯島稔凱

先の総会において、理事長の大役を仰せつかりました。

平成14年に急逝された金子登先生の跡を引き継ぐ形で9年間、不束ながら総務部長の重責を務めさせて頂いて参りました。かねてよりあと一年、10年という区切りをもってお役御免を蒙りたいと願っていた矢先に新たなお役の話でしたが、「その任に堪ざる由を固辞す。去れども更に許容なし」の心境でお引き受けすることとなりました。

理事長の職務は多岐に亙りますが、幸い一番大変な指定管理者関係は海老名先生にお引き受け頂

きましたので、会長、各部長はじめ役員および会員の皆さまのご支援・ご協力を頂きながら務めて参りたいと思います。

理事長職を務めるに当たっての私なりの基本的な考えは「和」ということです。

所弓連は、300名からの会員を有する全国でも屈指の規模の連盟です。老若男女を問わず、弓道という「趣味」(敢えて趣味と言わせてもらいます)を通じて同好の志が集まった団体です。これだけの人数が集まれば、弓道に対する考え方も取り組み方も様々です。修養道、人生の楽しみ、スポーツ、どれがいい、どれが間違っているということではないと思います。

2年前、新家会長が新体制発足に当たって、「会員を増やす」、「連盟の活動をより活発にする」という目標を掲げられ、そのため全会員に会の活動状況を知ってもらい、会への関心と連帯をより深めてもらいたいと、「所弓便」を発刊しました。その創刊号に草賀前会長が書かれた、「我々は弓道を志す仲間です。『起居進退は、規矩に従い、恭敬敬愛の容儀をそなえ、粗卒倨傲の態度があってはならない』とは教本の教えるところです。一方で切磋琢磨し合いながら、一方でお互いを尊重し合いつつ、弓道人としての成長が、人間としての成長につながるような所弓連が、次の50年に続いて行ってくれるように祈りたいと思います。」という言葉は今一度かみしめながら、“誰もが、いつでも、気持ち良く”弓を引きに道場へ来られるような環境作りに務めて参りたいと思います。

何事につけご意見、ご要望等ありましたら気軽にお声掛け下さい。会員皆さまのご協力を切にお願い申し上げます。

総務部担当を命じられました

総務部長 甲斐久歳

今年度の総会で、総務部長を仰せつかりました。昨年度まで6年間競技部を受け持っておりましたが、総務の飯島部長が理事長になられ、その穴埋

めに私の様な粗忽な人間が総務の大役を勤めさせて頂く事に成り、自分自身戸惑っております。

幸いな事に総務部にとって大変重要な業務である、会員名簿の管理と道場維持協力金の管理を飯島理事長が引き続き受け持って下さるとの事なので、講習会、競技会以外の「所・弓・連」全般の行事や管理など、会長、理事長の指示の下、各部長及び総務部部員の方々のご支援とご協力を頂きながら務めてまいります。職務の内容が多岐に亘りますので、私自身気が付かない事が多々出てくるか事と思います。その様な時にはお気軽に声を掛けて下さるようお願い致します。

私も永年所・弓・連にお世話になりそのご恩返しのため、連盟の役員を勤めさせて頂いておりますが、最近身に滲みて感じる事が有ります。

それは、現代弓道修練の眼目に

- ① 射法射技の研修
- ② 礼に即した体配の修練
- ③ 射品射格の向上
- ④ 人間完成の必要

と教示されております。その中でも年齢とともに、「人間完成の必要」と言う眼目が最も重要になっております。道場に通って弓を引いて居るので、弓技の上達を望むのは当然ですが、弓道を通じて弓友や近隣、ひいては社会の一員としての人間性の成長がこれからの人生の栄養ではないかと思っております。

総務部長を引き受け半年、その内容の煩雑さに苦勞しておりますが、会長、理事長の補佐のため、会員の皆さんが気持ちよく弓が引けるよう勤めさせて頂きますので、ご協力の程よろしくようお願い致します。

射会にふるって参加を

競技部長 上橋 宏

23・24年度の競技部長を仰せつかりました。2年間よろしく申し上げます。所沢弓道連盟では月例射会を初め、いろいろと射会があります。ま

た西部支部の射会、県の射会、そして外部の射会もあり、すべてに参加すると大変忙しいということになります。しかし、射会は普段の練習の成果を試す場ともなります。また大勢の見ているところで弓を引くことは、審査の時の度胸をつけることにも役立ちます。射会で成績のよかった時のうれしさ、成績の悪かった時のくやしさは今後の修行に活かされるでしょう。

所沢弓道連盟を活性化するには大勢の皆さんの射会への参加が重要です。射会の成功と所沢弓道連盟の活性化のために、競技部役員の協力とともに会員皆様の参加を、どうぞよろしくお願ひします。

平成23・24年度 所沢市弓道連盟役員

4月23日の所弓連総会で選出されました。

会 長 新家 透 (再任)
副 会 長 鈴木欣三 (再任)
副 会 長 本橋民夫 (再任)
副 会 長 見原重信 (再任)
理 事 長 飯島稔凱 (新任)
総務部長 甲斐久歳 (新任)
指導部長 渡邊徳雄 (再任)
競技部長 上橋 宏 (新任)
スポーツ少年団 賀未弓子 (再任) 賀未寛人 (再任)
会 計 海老名玄 (再任)
監 事 矢内弘信 (再任)
監 事 八木 繁 (新任)

平成23・24年度埼玉県弓道連盟役員 (所弓連会員)

5月7日の埼玉連理事会で選出されました。

顧 問 橋田榮次 手島 正
理 事 長 本橋民夫
理 事 新家 透
評 議 員 永島英男 立和修治 渡邊徳雄
飯島稔凱
専門委員 (女子部) 嶺美智子

平成23・24年度埼玉県弓道連盟

西部支部役員(所弓連会員)

3月6日の西部支部評議員会で選出されました。

顧 問 橋田榮次
参 与 手島 正 本橋民夫 見原重信
草賀 淳
副支部長 新家 透
理 事 長 甲斐久歳
会 計 (正) 篠原一郎 (副) 三好啓子
理 事 永島英男 立和修治 渡邊徳雄
飯島稔凱 新家 透 海老名玄
上橋 宏 松寄恭子 石川淳子
三好啓子 甲斐久歳 篠原一郎

∞ 東日本大震災関係 ∞ 義 援 金

4月23日の所弓連総会において可決された連盟会計からの拠出金20万円と4月10日から5月4日までのあいだ武道館と市弓道場に設置した募金箱に入れて頂きました 116,193円の合計 316,193円を西部支部、埼玉連、全弓連を通じて東北連合会と調整し日本赤十字社等へ義援金として贈りました。

なお、西部支部の合計額は761,826円、埼玉連全体では3,326,070円でした。

会員皆様のご厚情に厚く感謝いたします。有り難う御座いました。

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

10月31日現在の会員数は298名です。

今年度新たに、初心者教室修了生16名、スポーツ少年団関係12名、一般8名、計36名が入会されました。

新たに入会された会員

(10月末現在 入会順 敬称略)

皆さんよろしくお願ひします。

島山 和 島山理恵子 福田泰平 高橋貴子

杉原 睦 藪田文郎 小池佐知子 檜原克明
 針谷忍子 内田千賀 保坂亜麓 村野治男
 高柳彩佳 新井忠文 菅宮珠美 高橋絢子
 高柳洋恵 渡邊涼介 渡邊乃恵 青山優海
 末廣侑也 藤田拓磨 中村仁昭 相川由歩
 市川聡美 中村裕子 藤田江里穂 相川 恵
 佐藤祐亮 本田綾子 瀬賀かほる 渡辺智子
 松浦篤子 林 義照 森下珠美 池田由香

昇段・昇格

(9月末現在 敬称略)

昇段おめでとうございます

六段 平山夏子 篠原一郎
 四段 奥富季乃 廣瀬雅孝 渡部知実
 二段 家長知史 土田千香 引地靖子 吉田幸子
 初段 関口二郎 関口研二 伊藤祐二 坂口葉子
 甲斐 聡 宮本莉緒 清水淳子 三上恵理菜

所 弓 便

4月23日 所弓便6号発行
 9月 6日 所弓便7号編集開始
 10月31日 所弓便7号発行

神社道場メンテナンス

4月27日 近的・遠的場除草剤散布
 6月14日 近的場矢道芝刈り参加24名
 7月 上旬 近的・遠的場除草剤散布
 8月 2日 近的場矢道芝刈り
 9月14日 矢道芝刈り

【指導部】

定期講習会

9月末までの講習会受講者数
 橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)
 受講者延 50名
 土曜講習会(草賀先生)(毎月第2土曜日)
 受講者延 60名

水曜講習会(見原先生)(毎月第4水曜日)
 受講者延 95名

初心者弓道教室

初心者弓道教室(前期)

期 間 5月21日～7月2日
 毎土曜日 午後1時～4時 全7回
 修了者数 16名(内11名入会)

これから始めて経験する弓道への期待と自分は果たして最後まで出来るかなどの不安を抱えて参集した16名の受講生の前期初心者弓道教室は、5月21日武道館にて始まりました。

受講生のこの不安を取り除くように、冒頭から永島先生の分かりやすく含蓄のある道具の扱い方、基本の動作、射法八節の説明によって、受講生も少しずつ講習に引き込まれていくのが表情からも読み取れます。

受講生にとっては、午後1時から4時まで途中少しの休憩をとってはいるがあっという間の3時間だったと感じられる教室が、渡邊指導部長外多くの指導部の諸先生の参加によって開催されました。



受講生と指導部の諸先生

初心者弓道教室(後期)

期 間 8月31日～9月30日
 毎水・金曜日 午後7時15分～9時
 全10回
 修了者数 8名(内5名入会)

【競技部】

月例射会

(5月15日) (参加 遠的19名 近的41名)
《遠的》

1位 三好啓子 2位 増田裕子 3位 水口 清
《近的》

2段以下

1位 関口研二 2位 関口二郎 3位 小山 等
3・4段

1位 星川三樹男 2位 龍池 昇 3位 松本裕子
5段以上

1位 石川淳子 2位 松寄 昇 3位 永田欽一

(6月 5日) (参加 近的46名)

2段以下

1位 清水淳子 2位 関口二郎 3位 元田郁男
3・4段

1位 松本裕子 2位 中村徳海 3位 竹下正博
5段以上

1位 水口 清 2位 小林康則 3位 下田 徹

(7月10日) (参加 遠的20名 近的40名)

《遠的》

1位 藤田 良 2位 平山夏子 3位 廣瀬雅孝
《近的》

2段以下

1位 元田郁夫 2位 中根幸二 3位 黒木宝子
3・4段

1位 山本雅子 2位 奥村幸二 3位 キース・バクストン
5段以上

1位 粕谷吉一 2位 松寄恭子 3位 三好啓子

(8月21日) (参加 近的46名)

団体1位 星川三樹男 竹下正博 三好啓子

2位 澤田靖子 奥富季乃 粕谷吉一

3位 水口 清 中村康代 熊井紀一

個人1位下田徹 2位石川淳子 3位中村徳海

対外競技会

(5月)

5日 入間市近隣親善射会 (所弓連参加24名)
団体1位 永田欽一 小林康則 星川三樹男
個人2位 小林康則

(6月)

26日 県弓道遠的選手権大会 (参加6名)
男子五段以上優勝 永島英男

(7月)

17日 明治神宮崇敬会大会 (参加2名)

(8月)

4日 第50回記念扇の的弓道大会 (参加数名)

7日 読売杯・県体予選・寿射会 (武道館)
参加201名 内所弓連37名

読売杯 1位下田 徹 7位松寄昇
10位平山夏子

寿射会 3位熊井紀一 5位甲斐久歳

県体予選通過チーム

女 子 石川淳子 増田裕子 松寄恭子
4・5段 小林孝則 竹下 眸 中村徳海

称 号①住田眞美枝 平山夏子 下田 徹
②熊井紀一 鈴木光昭 海老名玄

(9月)

4日 県勤労者弓道選手権大会 (参加3名)

10日 西部支部選手権大会兼県武道大会選手
選考会 (武道館)

参加160名 所弓連48名 (内スポ少11名)
西部支部選手権

団体戦

2位 熊井紀一 鈴木光昭 海老名玄

3位 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

個人

1位 下田 徹

3位 星川三樹男

県武道大会選手

中学生

西原郁哉 小寺芽生 栗原大智 横山海友

林 雅茂 阿部晃司 伊藤大将 奥泉優斗

金井雄太 小塚一平

男子団体

下田 徹 星川三樹男

19日 第38回市民弓道大会(武道館)

参加総数189名

《学生の部 133名》

小・中学生の部

1位 西原郁哉 2位 金井雄太 3位 花崎怜奈

高校初級の部(1年生)

1位 杉田将人 2位 石塚遼馬 3位 宮本莉緒

高校上級の部(2・3年生)

1位 松橋利弥 2位 佐藤 航 3位 小熊紘平

《一般の部 56名》

2段以下の部

1位 甲斐 聡 2位 小山 等 3位 元田郁男

3・4段の部

1位 渡部知実 2位 中村徳海 3位 藤田 良

5段以上の部

1位 永島英男 2位 鈴木光昭 3位 中島規子

総合優勝 学生の部 松橋利弥

一般の部 渡部知実

《女子の部》

遠的団体2位 石川淳子 増田裕子 松寄恭子

遠的個人1位 増田裕子

《称号者の部》

近的個人2位 下田 徹

【スポーツ少年団】

(7月)

18日 全日本少年少女武道錬成大会(日本武道館)

男子3団体、女子2団体 計18名参加

23日 埼玉県民総合体育大会弓道競技(中学の部)兼第8回全国中学生弓道大会予選会

(秩父市営第一弓道場)

男子4団体、女子3団体 計18名参加

スポ少初心者弓道教室

期 間 5月24日～6月18日

毎火・木・土曜日 午後7時～8時半
全12回

修了者数 13名(内スポ少8名、保護者5名)

入会者数 11名(内スポ少7名、保護者4名)



受講生と優しい先生達

25日 埼玉県民総合体育大会(上尾)

♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

巻頭に飯島新理事長の就任に当たって、「和」という言葉がありましたが、今回は、人間関係の機微をみごとに表現した、有名な吉野弘の「祝婚歌」をご紹介します。

結婚する二人に贈る言葉ですが、すべての人に通じる、心すべきものではないでしょうか。

祝 婚 歌

吉野 弘

二人が睦まじくいるためには
愚かであるほうがいい
立派すぎないほうがいい
立派すぎることは
長持ちしないことだと
気づいているほうがいい
完璧なんて不自然なことだと
うそぶいているほうがいい
二人のうちどちらかが
ふざけているほうがいい
ずっこけているほうがいい
互いに非難することがあっても
非難できる資格が自分にあったかどうか
あとで疑わしくなるほうがいい
正しいことをいうときは
少しひかえめにするほうがいい
相手を傷つけやすいものだと
気付いているほうがいい
立派でありたいとか
正しくありたいとかいう
無理な緊張には
色目を使わず
ゆったり ゆたかに
光を浴びているほうがいい

健康で 風に吹かれながら
生きていることのなつかしさに
ふと 胸が熱くなる
そんな日があってもいい
そして
なぜ胸が熱くなるのか
黙っていても
二人にはわかるものであってほしい

Mr. KaTaBaMi

∞ 投 稿 ∞
弓道の勧め

所沢市医師会 春田 孝正

胸を拡げて、背中を伸ばし、健康を保持して老化を防ぐ運動が弓道です。普通は一回に甲矢（はや）、乙矢（おとや）の順に2本引きます。道場では、稽古着または和服に袴を穿いて弓を引くのが建前です。稽古、練習は昼夜の別なく可能です。しかも練習量を自分で調節出来るのです。気力が充実したら更に励み、疲労を少しでも感じたら休憩する事ができます。剣道とか柔道の様に相手がいなければ練習が出来ないと云う事はありませんので、その点は自由です。

弓を引くと申しますが、実際は、引くのではなく、頭の上に高く掲げた矢をつがえた弓と弦を左右に大きく開くのです。

弓を引いて矢を放すまでの動作を弓道では、打ち起こし、引き分け、会、離れ、と称します。その前に足踏み、胴造り、弓構え、と言う氣息を整える動作があり、離れ、の後に、残身（残心）と言う動作があります。特に、引き分け、会、離れ、の動作中は真の無念無想の境地になる事ができます。勿論道場に入る時から出る時まで精神統一をしているのですが、引き分け、会、離れ、の間の

心境は、弓引きの人間にとっては、なんとも云えぬ素晴らしい無我の心境に入る事の出来る瞬間です。

弓道は礼に始まって礼に終わると言われております。正射必中とも申します。正しさを求めて精神修行が出来るのが弓道です。弓道の最終目的は人間形成といわれております。

弓道は相当の高齢になっても楽しむ事の出来るスポーツです。現在毎朝91歳の人と一緒に弓を引いています。その人は、腰も曲がらず、背筋も真っ直ぐ、元気そのもので他の人の指導もしています。

礼射と云って定められた規則(礼法)に従って、一連の流れに沿って数人が節度正しく弓を引く作法がありますが、精神的に張り詰めた緊張感を伴い、なかなかすばらしいものです。

私は今年86歳になりますが、毎朝5時頃に起床して6時過ぎには家を出て道場に行き弓を引いています。一時間近く練習をして帰宅して食事をします。一日のうち朝飯が一番美味しく感じます。そのあと、9時から診療をはじめています。此が何時まで続くかと思っています。出来るだけ長く続けたいと考えています。

「大正の頑固さゆえか ひたすらに ^{やそじ}八十路を越えて ^なお弓を引く」

これは最近の心境です。

弓に関する短歌も多数有りますが、私が最も好きな短歌は源実朝の金槐和歌集にある

「武士の ^{ものふ}矢波 ^{やなみ}整 ^{なみ}う ^{こて}籠手 ^{うえ}の上に ^{あられ}霰 ^なたば ^ししる ^な那須 ^しの ^は篠原」 という歌です。

この悲壮感は素晴らしいものだと思います。

(注) ^{やなみ}矢波 ^{えびら}箆 ^{えびら}に差した矢のならば具合(広辞苑)

そのほかにも、神皇正統記に ^{たかなが}尊長親王の
「おもいきや ^{あすさ}手もふれざりし ^{あすさ}梓弓 ^{あすさ}起き伏
しわが身 ^{なれん}ものは」

と言う感涙を催される様な歌もあります。

弓道は、精神的にも、肉体的にも素晴らしいスポーツだと思います。新しく始めてみようという

方はおられませんか。

埼玉県弓道連盟の支部に所属している弓道場が県内の各市町村にあります。毎年「初心者教室」を開いている所もあります。挑戦しようと思われの方がありましたら、是非参加してください。

(本稿は、埼玉県医師会誌 平成23年6月号に掲載されたものです)

六 段

平山夏子

五月五日、京都審査で六段に合格しました。

これも、ひとえにご指導下さる諸先生方、諸先輩方、多くの弓友のご指導の賜物と心より感謝申し上げます。そして、何より懲りもせず審査に出かけるのを諦めているのか、愚痴も言わず送り出してくれる主人と娘に「ありがとう」です。審査に行くには費用も掛かります。出掛けるたびに「いいよ。爪に火を点して耐え忍ぶから、行っておいで」と送り出してくれる。

五月のこの時期は墓参で行って大阪京都に居ることが多く今回もどうせなら「行きがけの駄賃」と受審を決めました。

審査は行ってみなければ分からないと言いますが、正にそうでした。直前の練習を観ても受かるとは思えない状態だったので、初心に戻って「大きく引いて大きく離す」しかないと思いました。それでもあまり格好悪い射はしたくないと内心ドキドキでしたが、開会式の鈴木三成会長の「六段は思い切りやるだけです。」とおっしゃった短い挨拶の言葉にそうか!と妙に納得!?

番号通りなら落ちだったので、ずれても大前はないだろうと思っていたら、なんと大前! 苦手な大前だし中りはないし、本当に思い切りやるしかないと覚悟を決め臨みました。勿論審査を受ける訳ですから、合格は嬉しい事ではありますが、こんな状態ですので反面これからを思うと、緊張で身もすくむ思いです。

弓を始めたのは平成9年の初心者教室からです。

弓の事は何も知らず所沢に道場が在ることさえ知らず始めたのですが先輩方が生き生きと輝いていて、真摯に取り組む姿勢に魅了されました。

やればやるほど知れば知るほど奥が深く右往左往の毎日ですが、弓が引ける事に感謝して精進したいと思います。

四段合格によせて

奥富李乃

五月の審査に向けて、稽古をしていましたが、本当に思いもかけない大震災がおきました。被災地はもちろん、私たちの生活も大きく変えざるを得なくなりました。家にいても、テレビから離れられず、暗いニュースばかり、スーパーに行くと品物が無い陳列棚、心がざわざわと落ち着きませんでした。

こんな時にいいのだろうか?と思いながら稽古に行ってみました。やはり、なんとなく落ち着かない感じでしたが、稽古を重ねていくうちに、心が落ち着いてきて、「これが、私の日常?」と、思うようになりました。皆さんの弓道に対しての変わらない姿をみて、予定通りに、五月の審査に挑戦することにしました。そして、先生方、先輩、仲間のお陰で、四段に合格させていただきました。ありがとうございました。

これからも、御指導いただきますよう、よろしく願いいたします。

四段合格に寄せて

廣瀬 雅孝

6月19日大宮公園弓道場にて、念願の四段を認許いただきました。思えば1年前、そろそろ真剣に昇段をと一念発起し、それから受審すること6回にしてやっとの合格でした。

その間、辛抱強く熱心にご指導いただいた松寄 昇先生をはじめ、神社道場で夜引いておられる先生方、新家会長やその他諸先生方、先輩方のたくさんのご指導、アドバイスには本当に頭の下

がる思いで、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回合格にいたるまでは、とても長く、あるいはもう無理かもしれないと気持ちが折れそうなことも何度もありました。でも、そのたびに皆様のご指導、アドバイスを無駄にはしていないとの思いでなんとか気持ちをつなげられました。そのせいか、この6回目の審査では切羽詰る思い強く、結果が出たときは喜びより先に皆様への感謝と(報われた)安堵の気持ちでいっぱいでした。

思えば、自分の意思でこれほどひとつのことをあきらめずに持続的に挑戦したことは、人生の中でもほとんどありません。それには自らの意思だけでなく、所沢の地で弓道に出会い、数多の良き指導者、弓友にめぐまれ、文字通り切磋琢磨できたからであると思っています。私としては所沢の弓は、それこそ躰換えのないものです。

昇段をして、自分でもかつての射とはいささか変わった気がします。無論足りないところはまだまだたくさんありますが、何より内面的に自分の射に自信を持てるようになってきたように思えます。昇段までの苦労、その結果の喜びや自覚はやはり射に影響を及ぼすことをこのたびの昇段で実感しました。

今後はさらに上を目指すことで自分の射を磨き、またこれまで続けているスポーツ少年団での指導、後援を通じて、諸先生方、諸先輩のご恩に報いる所存です。今後ともよろしく願いいたします。

初めての審査

関口研二

初心者教室の初日、初めて神社道場に入った時の第一印象は、何と的が小さく見えた事でした(本当にあたるのだろうか?)。

その初心者教室を終え入門、初めての胴着の着装、袴の着け方が一度では覚えられず何度も先生方に聞きながら着たのを覚えています。初めて着

た時、それを見た先生が一言「なんか変だなあ！」メタボの影響でしょうか……。

練習は週2回以上を目標に神社道場と武道館に通いたくさんの先生方の指導を受ける事ができました。

そして初めての審査、前日はまったく眠れず緊張したまま当日を迎え、渡邊先生の愛車で会場へ(渡邊先生ありがとうございました)。そして審査開始、心臓の鼓動が激しく、今にも飛び出しそう。飛び出して大宮公園に逃げてしまいそう 落ちつけ 関口！

案の定、体配は間違えるし、退場はふわふわした足取り こりゃいかん！ と思っているうちに、学科、何とか自分の思いを書けたような気がするようないような。漢字が思い出せずひらがなばかり、何とも苦い思い出の初審査でした。

そして夕方の発表！合の印をいただき、本当は飛び上がるほどうれしかったのですが、もっとしっかり練習をしなければいけないと恥ずかしい思いでいっぱいでした。でも初段合格本当にうれしかったです。

私は弓道を、弓を射る事を神様への奉納だと思っています。皆の幸せを祈り一矢一矢に心を込めて射る。破魔弓や破魔矢があるように皆の幸せを祈り、これからも弓道を続けたいと思っています。

今回ご指導いただいた先生方に本当に感謝し、まだまだ未熟な私ですがこれからも精進・努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

初段の審査を受けて

関口二郎

審査が終わったとき、いかに自分があがっていたかすらわからないくらいに緊張していたことに気がつきました。まるで自分の足が自分の足でなくなったように感じ、射の後に矢所も確認できず、乙矢をどう番えたかも覚えていませんでした。こんなに緊張したのは娘とバージンロードを歩いたときくらいでしょうか。

私が弓道に初めて出会ったのは50年ほど前のこと。近所の神社の脇にあった弓道場で宮司さんらしき人が弓を射る姿を見て、中学時代の私はその姿に憧れを抱きました。それ以来、何度か弓道に触れる機会があったものの初段の審査を受けるのは今回が初めてのことです。50年もの時を経て、このような機会が与えられたことは感慨深く、胸にせまるものがありました。

審査の結果合格出来たことは大変喜ばしく、やっと憧れの弓道に今入門が叶ったような思いです。これはひとえに諸先生、諸先輩方のご指導のお陰とっております。これからも精進して参りますのでご指導ご鞭撻よろしく願いいたします。

審査の日

宮本莉緒

審査の日、会場で立ち順を見るまで自分は二番目だと思っていたので、会場で大前、しかも一番始めと知った時は本当に受からないのではないかと思います。

初めての審査で緊張していて色々考えていたことも入場と同時にすべて飛んでいってしまったのもあり審査員の先生方に注意されてしまいました。それによってさらに焦ってしまい尚且つ目の前の審査員の先生方が私の気にしている手の内を訝しげにみていたのが非常に気になり集中しきれず、1本目は掃き矢になってしまいました。

「これはまずい」と内心泣きながら半足引いて座った時、後ろで一緒に練習してきた子が引いているんだと考えたら何故だか冷静になることが出来ました。

一緒に練習してきて同い年だけど自分より弓歴は上で、当たって、綺麗に引くその子は「どうせ受かるんだろう」と思ったらなんとなく負けたくなくて、いつも通りに、だけどいつも以上に、必ず当てると思いながら二本目を引いたらなんとかの的に当たったようでいい音がしました。

結果は私もその子も無事受かりましたが、あの

時一人では受からなかったかもしれないと今でも思っています。その子と、一生懸命指導してくれた先生方がいたから受かったのだと思います。最大級の感謝を込めてお礼を言いたいと思います。

弓道を通して心身を鍛える

福田泰平

この春、念願だった弓道を始めることができました。

私が弓道という道を志したきっかけは、父と東川沿いを散歩した帰りに父に「熊野神社に弓道場があるから見に行こう」と言われて見に行ったのと、そこで弓を引いている方を見て「かっこいいな。僕もやってみたいな」と思ったからです。

それに、私の兄も武道をしていたので、自分も武道をやってみたいと思いました。

しかし、中学校には弓道部がなかったので高校生になったら始めようと思い、母に相談したところ「受験で第一志望の高校に受かったら、弓道をしていいよ」と言われました。そしてこの春、第一志望の高校に受かることができたので、やっと弓道を始めることができました。

弓道をするからには、弓を引くだけで満足するのではなく、しっかりと集中して稽古に励んでいきたいと思っています。

将来、自分一人で弦や弓などの道具の手入れや取り扱いができるようにしていきたいと思っています。

あと、動作の一つ一つをきっちりとしていき、もう少し大きな声で返事や挨拶をしていきたいです。それと、弓道を通して集中力や精神力などを鍛えていきたいです。

∞ お知らせ ∞

審査申込書記載について(お願い)

審査申込書の記載内容について間違いが多々見受けられます。弓道の履歴書ともいうべき審査申込書ですから、締め切り間際にあわてて書き込まず、余裕を持って記載後さらに再度見直す心のゆ

とりを感じさせる審査申込書を作成したいものです。下記を参考にしてください。

尚軽微な訂正は右記のように

平成 昭和

 と正しく訂正してください。

1. 審査の名称

「審査の名称」欄については、道場内に掲示してある審査要項の「審査名」を正確に記載してください。

例えば中央審査において、[東京]中央審査は間違いとなります。正しく[東京]定期中央審査と記載してください。

2. 弓暦

「弓暦」欄の書き方は、四段審査ぐらいまでに間違いが多いようです。入門や初段取得の年月が抜けているもの。指導者の名前が無い又はフルネームでないものなどが多々見受けられます。

3. 講習会受講歴

「講習会受講歴」欄については、中央審査は県連主催以上のもの、連合審査及び地方審査は支部主催以上のものであって過去5年程(中央審査は3年以内)に受講したものを記載してください。

この他にも、捺印が無い、ID番号の間違い等色々あると思いますが、記載内容があまりにも杜撰な場合には受付不可となることもありますので特に注意して欲しいと思います。(審査受付担当)

日常の心がけについて(マナー)

8月21日に開催された所弓連理事会において、草賀先生が講習会で話された守るべきマナーについて紹介されました。

- ・道場での最初の一手は必ず坐射で行うこと。
- ・立射の場合でも、毎回本座で揖をしてから射位に進むこと。
- ・射終わったら、弓倒し・物見返し・足を閉じるまで行うこと。

どうしても射技の練習ばかりになりがちですが、日ごろ体配についても身につける習慣をつけて下さい。

ホームページ紹介

新家会長が9月にご自分のホームページを開設されました。アクセスは、**斤冢**(「きんちょう」と読む、わかんむりに注意してください)で検索するか下記アドレスで訪問してください。

<http://members2.jcom.home.ne.jp/7581qfce/index.htm>

∞ 今後の行事予定 ∞

23年

1月13日 第51回青少年三道大会 武道館

1月23日 第44回武州大会 武道館

1月11日 納射会 武道館

1月18日 大掃除 市弓道場・武道館

24年

1月 1日 新年百射会 市弓道場

1月 7日 寒稽古1月11日まで5日間
市弓道場・武道館

1月15日 初射会、懇親会 市弓道場外

1月21日 第2回四段以下講習会 武道館

1月29日 理事会 武道館

2月 5日 第17回武道祭

2月28日 所弓便8号発行

3月 3日 指導者講習会 武道館

3月11日 月例射会(遠的、近的)市弓道場

∞ 会長月誌 ∞

4月 1日 スポーツ振興課監査結果の指導打合せ(外 下田理事長・海老名会計)

4月12日 熊野神社春期例大祭・直会

4月24日 県連評議員会
小澤会長任期1期延長決定

5月 7日 県理事会出席
平成23・24年度役員決定

5月 7日 第2回地方審査前日準備(外6名)

5月 8日 第2回地方審査役員(外6名)

5月26日 市体育協会理事会

6月 4日 市体育協会評議員会(外3名)

会長 斎藤 博(再任)

監事 草賀 淳(再任)

幹事 新家 透(新任)

6月27日 埼玉連IT担当者会議

6月30日 市体育協会役員会

7月12日 第22回所沢シティマラソン
大会第1回実行委員会

7月14日 お中元届け(外理事長)

宮司、氏子会長、遠的場地主、
東・西新井町町内会長

八雲神社(熊野神社摂社)例祭
(外理事長)

7月18日 埼玉連臨時理事会は、支部行事
(西・中部講習)の為欠席。

議題：小澤範士祝賀会について

7月22日 所沢市体育協会理事会
広報委員会(新任)

7月28日 青少年三道大会打合会(外競技部長)

7月30日 埼玉連総務委員会

8月 6日 東西新井町盆踊り御祝届け

8月15日 10月所沢市長選に連盟顧問の
当麻よし子市長、同並木正芳元衆
議院議員が立候補予定

8月24日 体育協会理事会

8月27日 武道館所長歓送迎会(外理事長、
総務部長)

9月 8日 体協会議(所沢シティマラソン)

9月15日 体協会議(広報委員会)

∞ お悔やみ ∞

9月10日、教士七段 天野錦蔵先生が胆管ガンのため逝去されました。享年72歳でした。

先生は埼玉連副会長を務めるなど埼玉県弓道界の発展のために多大なご尽力をいただきました。

とりわけ長年に亘り西部支部主催講習会の主任講師として多くの所弓連会員がご指導を受けてきました。

先生のご恩に報いるためにも、なおいっそう稽古に励みその成果を必ずご報告することをお誓し、心からご冥福をお祈りいたします。

∞ 編集後記 ∞

3月11日東北大震災以降遅々として進まない復旧・復興事業への焦燥、原発事故に伴う食品への懸念、電力不足への不安、さらに出口の見えない政治混迷に対する苛立ちなど国中が梅雨明けの青空とは裏腹に沈んだ気持ちになりつつあった7月18日の早朝の出来事を忘れる事は出来ない。

サッカー女子ワールドカップドイツ大会に於いてなでしこジャパンが決勝戦で米国をPK戦のすえ始めて破り優勝をはたした。

その快挙は例えようもない。例えば男子サッカー日本代表が2014年W杯ブラジル大会で、南米のウルグアイ・アルゼンチン・ブラジル、ヨーロッパのスペイン・イタリア・フランス・ドイツ・オランダそしてイングランド等の優勝国をなぎ倒し黄金のワールドカップを太平洋を越え持ち帰る光景を想像できるだろうか。

でも澤 穂希主将は私達に“夢は見るものではなく、叶えるもの。(この優勝は)夢をあきらめずにやり続けてきた結果。夢を持ってあきらめずに頑張っ**て欲しい。もちろん、笑顔で**”と 教えてくれている。

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 甲斐久歳
小林康則 山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第7号
発行日 平成23年10月31日
発行者 所沢市弓道連盟
会長 新家 透